

2019年度第2四半期連結決算について

(注1) 2019年4月1日に、東京電力フュエル&パワー株式会社および中部電力株式会社の既存火力発電事業等を当社に統合いたしました。この統合の結果、2019年度第2四半期連結決算の値は、従前より大きく変動しております。

(注2) 資料内の「年度」表記は4月から翌年3月までの期間を指します。「2Q」表記は4月から9月までの期間を指します。

2019年11月14日
株式会社JERA

連結損益計算書

(億円)

	2019/2Q(A)	2018/2Q(B)	増減(A-B)	増減率(%)
営業収益 (売上高)	16,241	12,995	3,246	25.0
営業利益	1,406	39	1,367	3,482.0
経常利益	1,511	204	1,306	639.3
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,378	152	1,225	801.8

連結貸借対照表

(億円)

	2019/2Q(A)	2018年度(B)	増減(A-B)	増減率(%)
資産	36,948	12,574	24,373	193.8
負債	21,302	6,443	14,859	230.6
純資産	15,646	6,131	9,514	155.2
有利子負債残高	15,779	3,578	12,201	341.0
自己資本比率(%)	40.8	45.0	▲4.2	

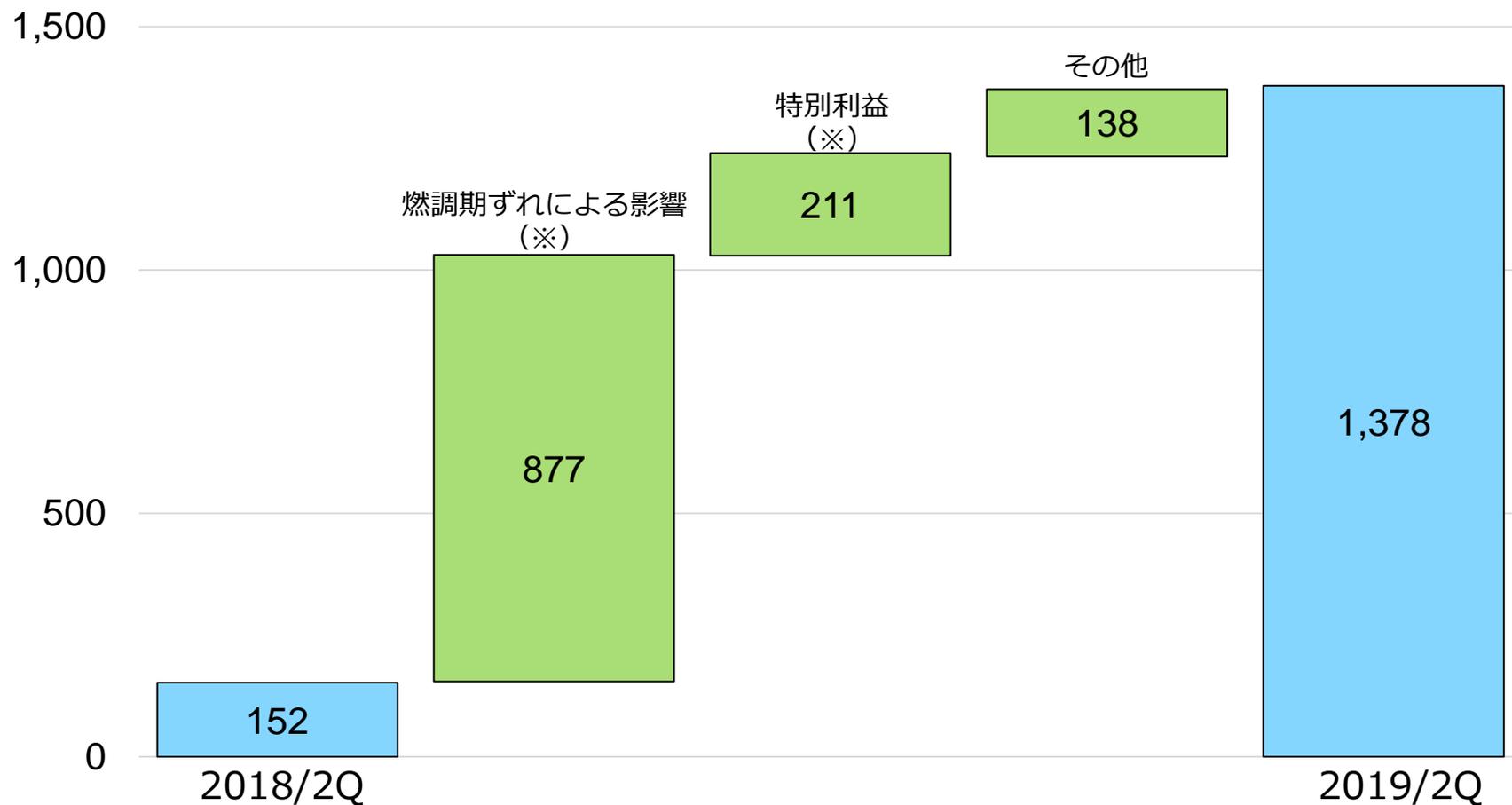
決算ポイント

■ 2019年度第2四半期決算のポイント

- 連結売上高は、既存火力発電事業等の統合などにより、前年同期比25.0%増の16,241億円。
- 経常利益は、燃料費調整制度の期ずれ差益などにより、前年同期比639.3%増の1,511億円。
- 純利益は、燃料費調整制度の期ずれ差益に加え、海外発電案件の売却に伴う特別利益が発生したことなどにより、前年同期比801.8%増の1,378億円。

【連結純利益の変動要因】

(億円)



※税引前の影響額を記載している

連結収支比較表

(億円)

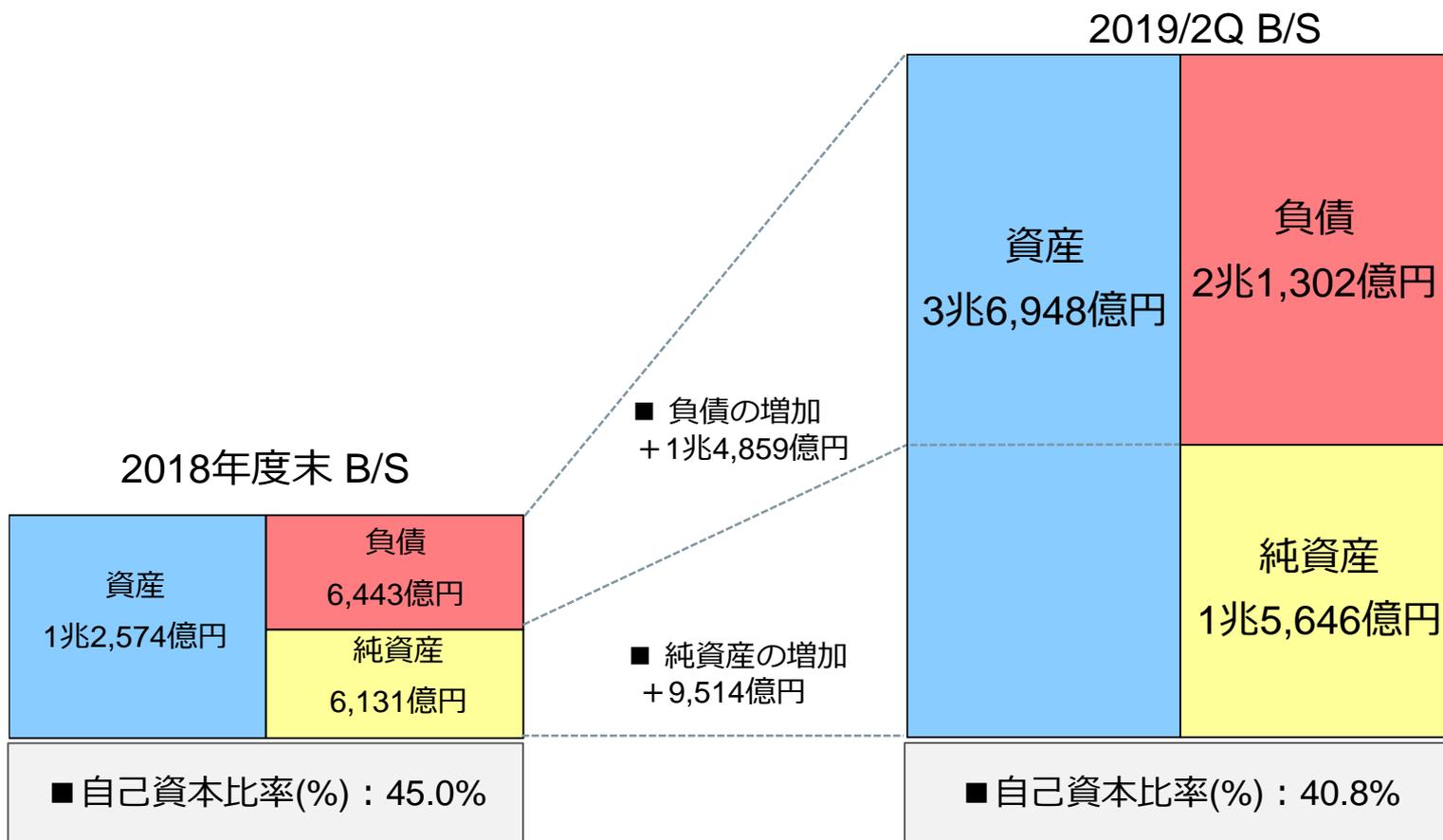
	2019/2Q(A)	2018/2Q(B)	増減(A-B)	主な増減要因
営業収益 (売上高)	16,241	12,995	3,246	・ 既存火力発電事業等の統合
営業費用	14,835	12,956	1,879	・ 既存火力発電事業等の統合
営業利益	1,406	39	1,367	・ 燃調期ずれ差益
営業外収益	191	185	6	
営業外費用	87	20	66	・ 支払利息の増
経常利益	1,511	204	1,306	
特別利益	211	-	211	・ 海外発電案件の売却益
法人税等	267	28	239	
非支配株主利益	76	23	53	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,378	152	1,225	

	2019/2Q
販売電力量 (億kWh)	1,313

	2019/2Q(A)	2018/2Q(B)	増減(A-B)
原油価格(JCC) (\$/b)	68.9	73.8	▲4.9
為替レート (円/\$)	108.6	110.3	▲1.7

連結財政状態

- 資産残高は、統合に伴う有形固定資産の増加などにより+2兆4,373億円
- 負債残高は、統合に伴う有利子負債の増加などにより+1兆4,859億円
- 純資産残高は、資本剰余金および利益剰余金の増加などにより+9,514億円



格付取得状況

【格付取得状況（長期発行体格付け）】

S&P	R&I	JCR
A-	A+	AA-

連結キャッシュ・フロー

(億円)

		2019/2Q
営業キャッシュ・フロー		2,913
投資キャッシュ・フロー	固定資産の取得	▲1,280
	投資有価証券の取得	▲271
	その他	▲85
		▲1,636
フリー・キャッシュ・フロー		1,276
財務キャッシュ・フロー	借入金の増減額	▲3,779
	その他	17
		▲3,761

現金及び現金同等物の増減額（▲は減少）※

934

※吸収分割に伴う現金及び現金同等物の増加額3,350億円および連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額117億円を含む

(億円)

		燃料事業※	海外発電事業	国内火力・ ガス事業	調整額	連結財務諸表 計上額
2019/2Q	売上高	3,751	5	14,798	▲2,314	16,241
	セグメント利益 (純利益)	175	303	990	▲90	1,378

※燃料上流・輸送・燃料トレーディング